



事 務 連 絡  
令和 3 年 3 月 1 7 日

各都道府県トラック協会  
専 務 理 事 殿

公益社団法人 全日本トラック協会  
常務理事 藤 原 利 雄

### 営業所等における感染対策の更なる徹底について(要請)

平素は当協会の事業運営に種々ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染防止対策については、これまでも、運転者・乗務員に対する咳エチケットや手洗いの励行、マスクの着用、始業点呼時における検温等による体調確認の徹底、車内換気の実施等徹底していただいているところですが、今般、乗合バス事業者の営業所において集団感染が発生しました。

当該事業者は、バス車内や営業所の事務スペースにおける感染対策は図られていたものの、職員が使用する休憩室、仮眠室及び食堂等における感染の疑いが指摘されています。

つきましては、貴協会におかれましても、感染拡大の防止のため営業所等における対策について、別紙のとおり取り組んでいただくよう、傘下会員事業者への周知をよろしく願いいたします。

以上

(本件に関する問い合わせ先)

公益社団法人 全日本トラック協会 交通・環境部

電話：03-3354-1045 FAX：03-3354-1019

記

1. 休憩室、仮眠室、食堂及び喫煙室においては同時に利用する人数に制限を設けるなど、密集、密接が発生することを防ぐこと。
2. 休憩室、仮眠室及び食堂においては換気についてできる限り複数箇所の窓を同時に開放し、それが困難な場合は開放部分の外に向かって扇風機を回す等、外気の循環を確保すること。  
また、冬季など窓の常時開放が困難な場合も、時間を決めた窓の開放や換気扇などを常時稼働させるなど、適切な換気を行うこと。
3. 休憩室、仮眠室においても常時マスクを着用すること。
4. 寝具等については使用する際に除菌を徹底するとともに、リネンの交換に努めること。